差替

# ドアポケットイルミネーション

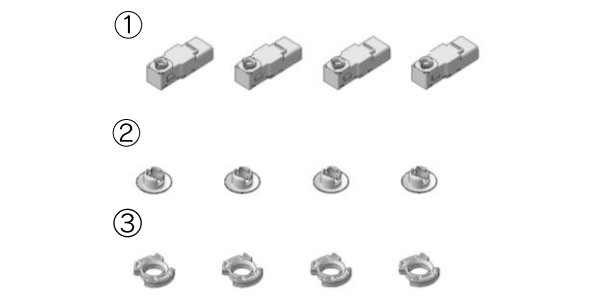
## 取付要領書

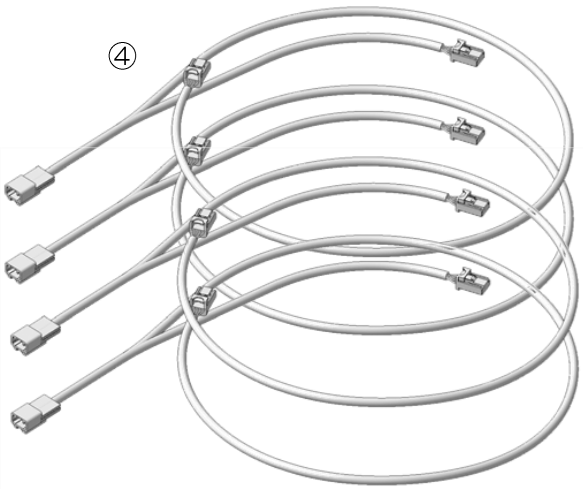
本書は**ドアトリム部分に面発光加飾が施されていない車両に対して**のドアポケットイルミネーションの
取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に品番が正しいことを必ずご確認ください。

## 品　　番

| ドアポケットイルミネーション | 0852D-33160 |
|---|---|

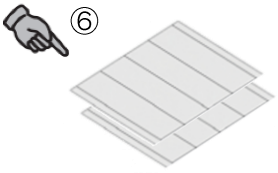
## 構成部品

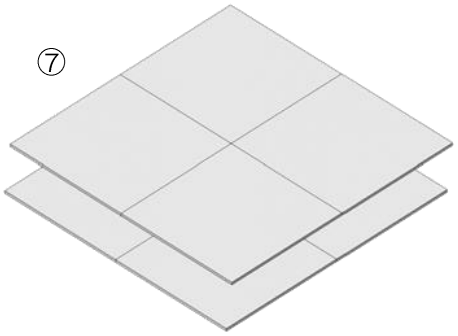


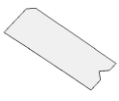













| No. | 品　名 | 品　番 | 個数 |
|---|---|---|---|
| ① | LED ユニット | 81080-78040 | 4 |
| ② | ベゼル | — | 4 |
| ③ | リテーナー | — | 4 |
| ④ | 用品ハーネス | — | 4 |
| ⑤ | タイバンド | — | 8 |
| ⑥ | 不織布テープ | — | 8 |
| ⑦ | エプトシーラー | — | 8 |
| ⑧ | 型紙(フロント用) | — | 1 |
| ⑨ | 型紙(リヤ用) | — | 1 |

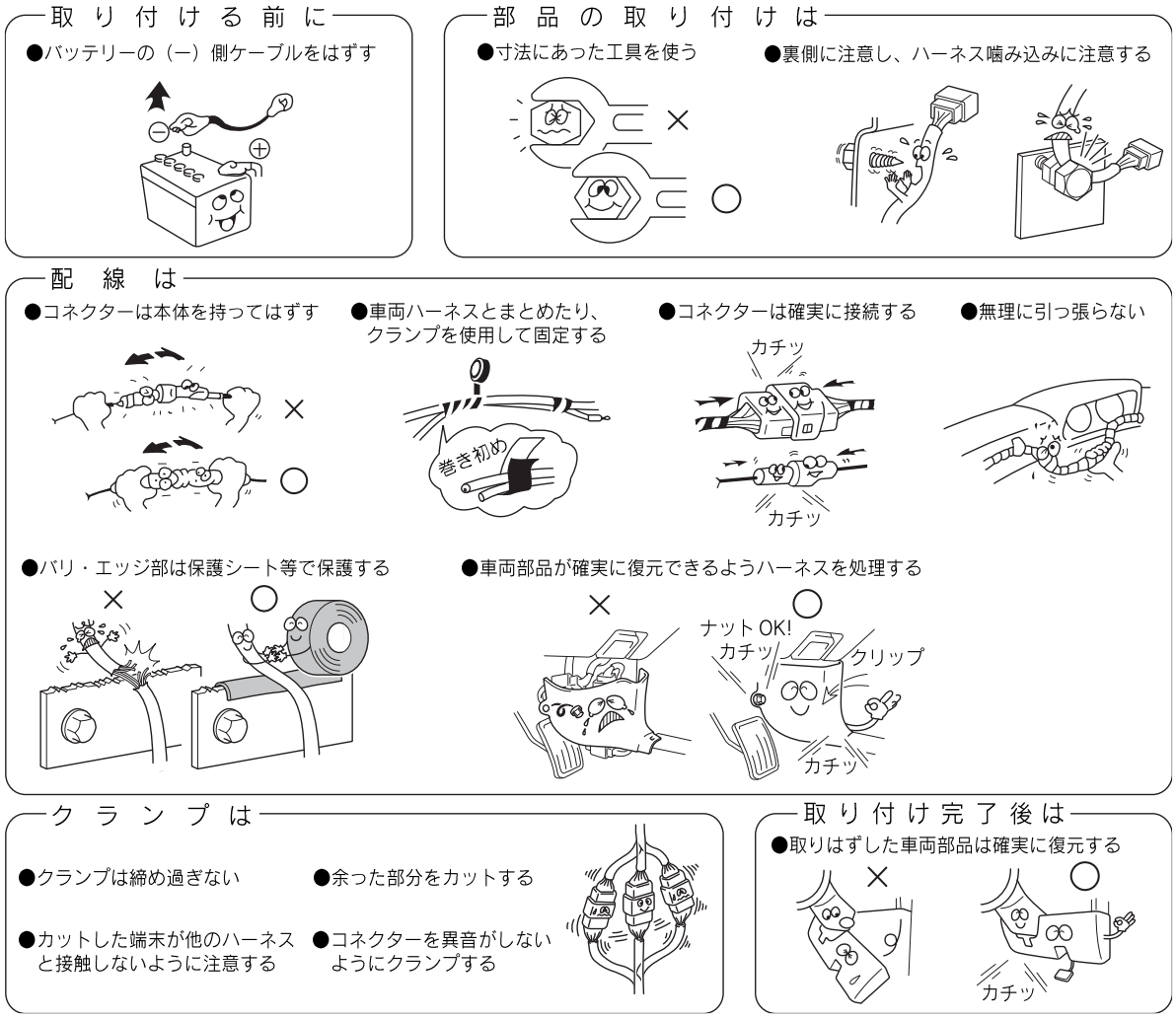
## 取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。
**⚠注意** … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等の恐れがあることを記載しています。
**注意** … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています。
**アドバイス**… スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

**注 意**

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

(1). 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
(2). 下回り作業中は、安全に配慮し、エンジン始動および乗車は絶対しないでください。
(3). 通常のキーによるエンジン始動・停止、電気式ドアロックが正常に作動する事を確認してください。
(4). 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューや、ボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
(5). バッテリー復元作業終了後、車両機能部品の初期化が必要な装備がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。




## 取り付けに必要な工具等

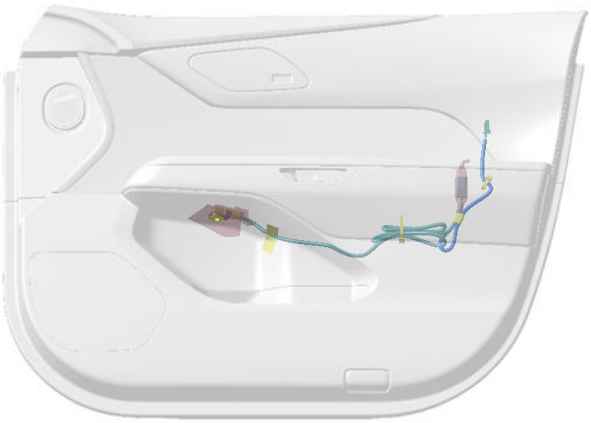
一般工具、各種リムーバー、マスキングテープ、保護テープ、ウエス、ハサミ、スケール、ケガキ針、
ヤスリ、脱脂剤等【イソプロピルアルコール(IPA) 純度 100%推奨】、電動ドリル（Φ3)、
ホールソー（Φ13)、保護メガネ

## 始業点検

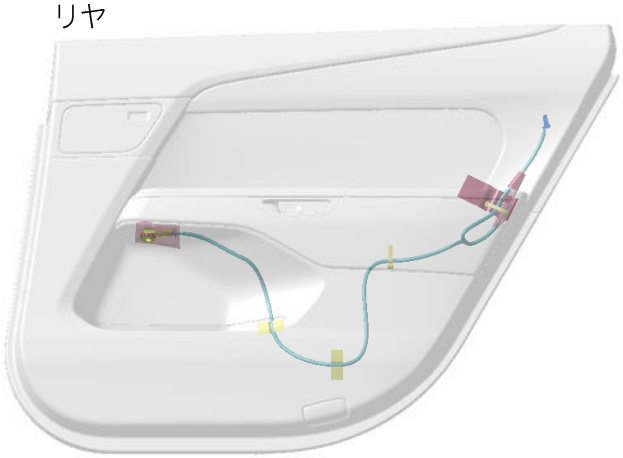
オーディオ等、電気系統の作動確認を実施してください。

## 取り付け概要

フロント



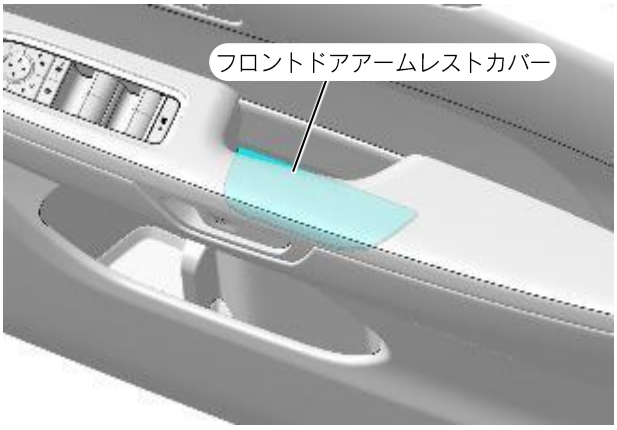
リヤ



## 取り付け要領

本書では、RH側の場合の取付要領を記載しています。LH側についてもRH側と同様の作業を行ってください。

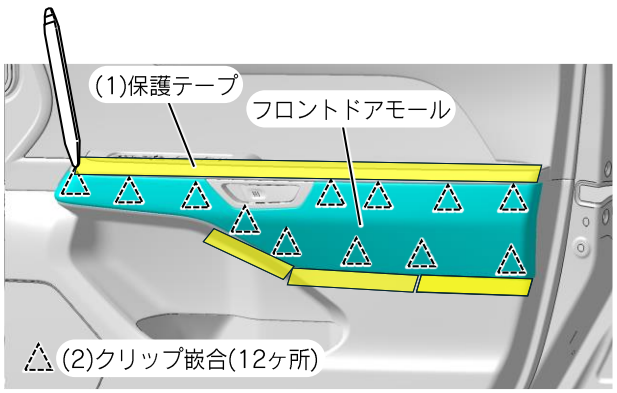
図-1




### フロントドアトリムボードの取り外し

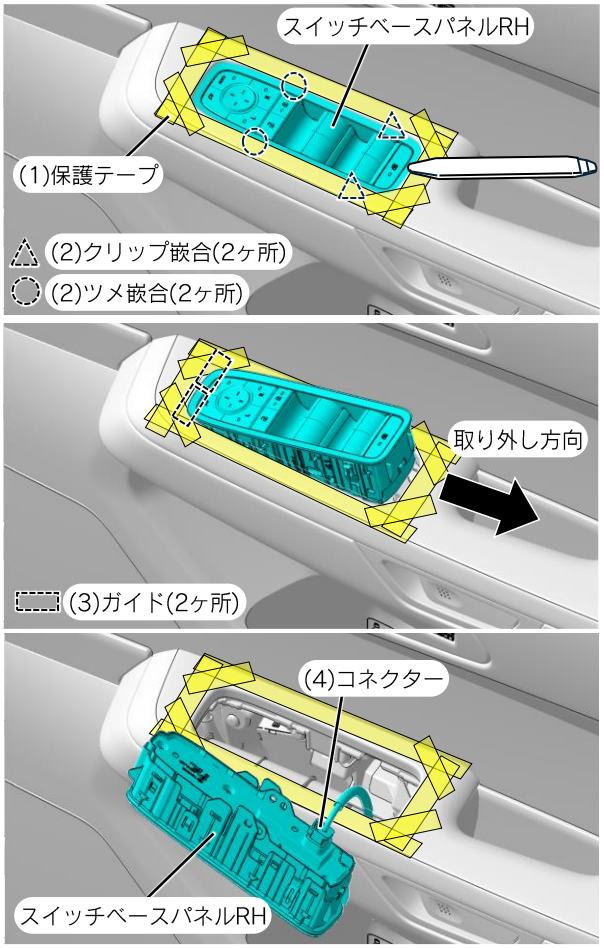
1. フロントドアアームレストカバーを取り外す。

図-2



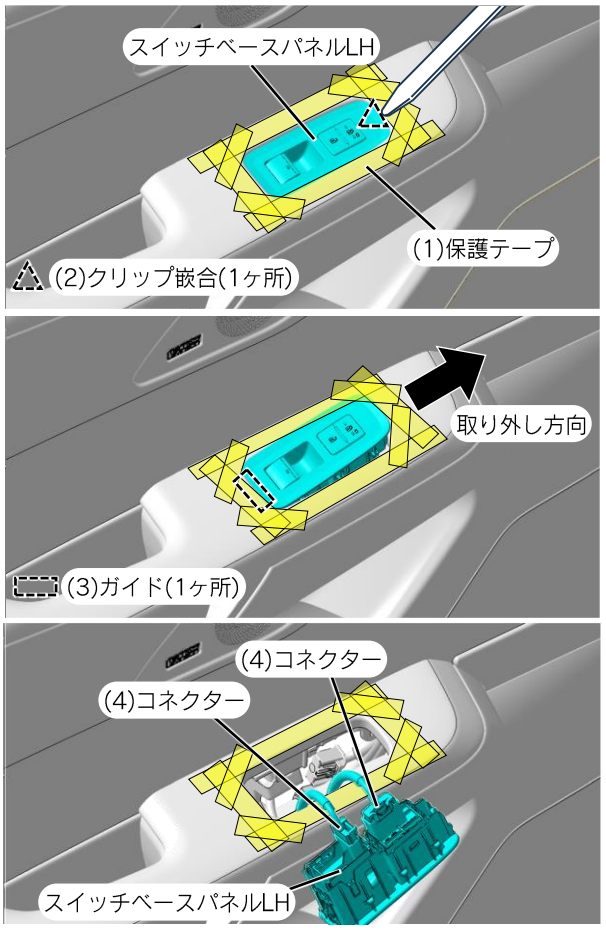

2. フロントドアモールの取り外し。
   (1) 図に従い、保護テープを貼る。
   (2) モールディングリムーバーを使用して、クリップ嵌合(12 ヶ所)を外す。

図-3



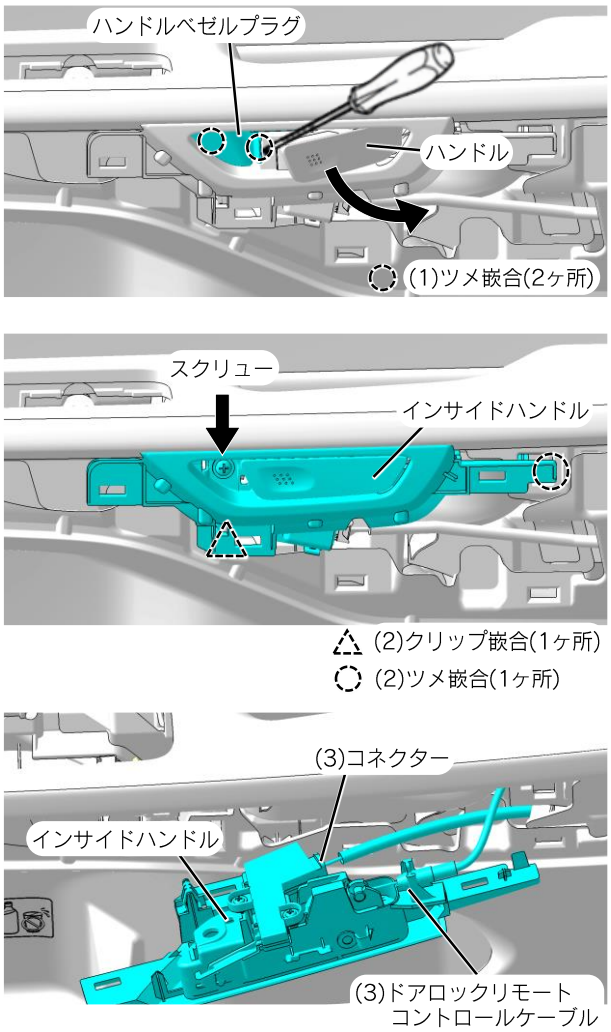

3. スイッチベースパネル RH の取り外し。
(RH/LH 非対称作業)
(1) 図に従い、保護テープを貼る。
(2) モールディングリムーバーを使用して、クリップ嵌合(2 ヶ所)、ツメ嵌合(2 ヶ所)を外す。
(3) 図のように、ガイド(2 ヶ所)を外す。
(4) コネクターを切り離し、スイッチベースパネル RH を取り外す。

図-4



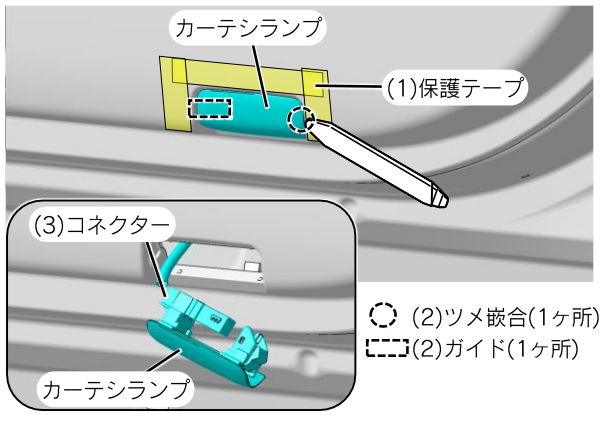

4. スイッチベースパネル LH の取り外し。
(RH/LH 非対称作業)
(1) 図に従い、保護テープを貼る。
(2) モールディングリムーバーを使用して、クリップ嵌合(1 ヶ所)を外す。
(3) 図のように、ガイド(1 ヶ所)を外す。
(4) コネクターを切り離し、スイッチベースパネル LH を取り外す。

図-5



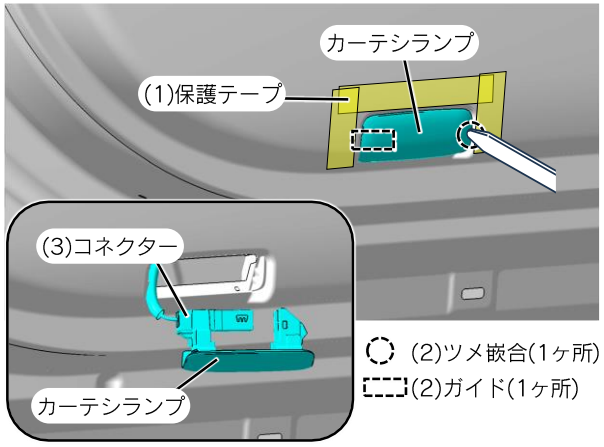

5. インサイドハンドルの取り外し。
   (1) ハンドルを開いた状態で、保護テープを巻いたマイナス薄刃ドライバーを使用してハンドルベゼルプラグのツメ嵌合(2ヶ所)を外す。
   (2) スクリュー(1ヶ所)を外し、クリップ嵌合(1ヶ所)及び、ツメ嵌合(1ヶ所)を外す。
   (3) ドアロックリモートコントロールケーブル、コネクターを切り離し、インサイドハンドルを取り外す。

図-6



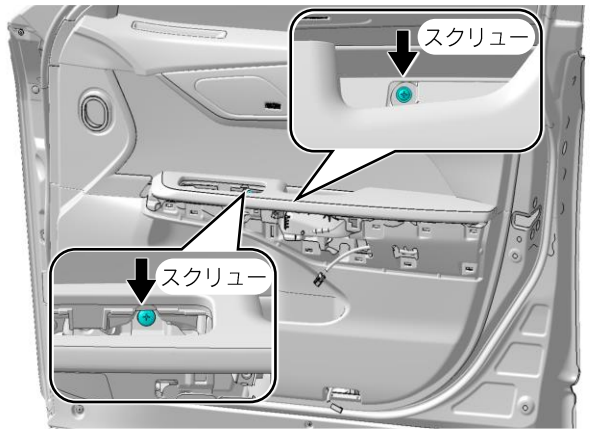

6. カーテシランプ RH の取り外し。
   (RH/LH 非対称作業)
   (1) 図に従い、保護テープを貼る。
   (2) モールディングリムーバーを使用して、ツメ嵌合(1ヶ所)及び、ガイド(1ヶ所)を外す。
   (3) コネクターを切り離し、カーテシランプRHを取り外す。

図-7



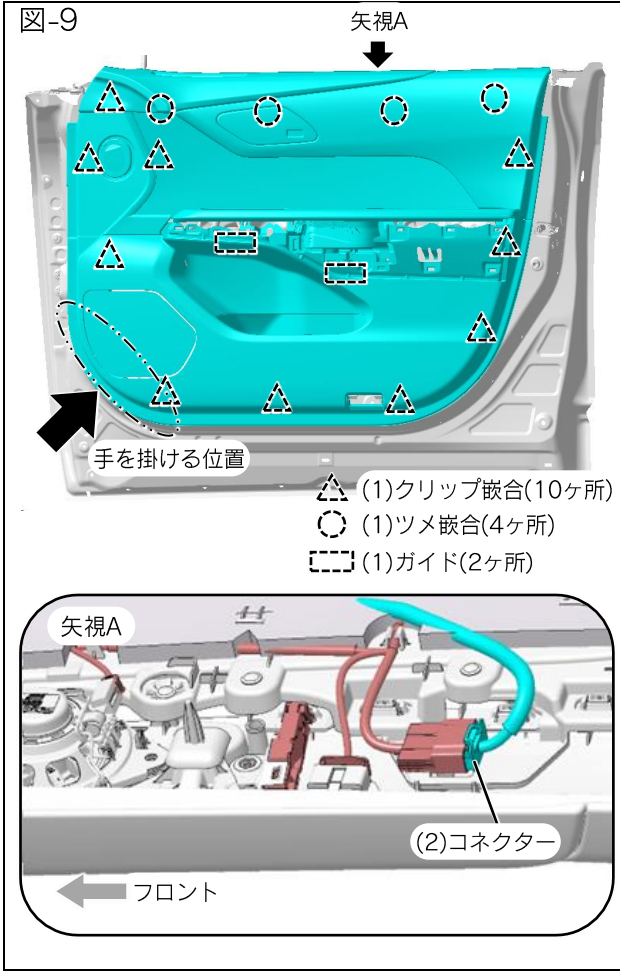

7. カーテシランプ LH の取り外し。
(RH/LH 非対称作業)
(1) 図に従い、保護テープを貼る。
(2) モールディングリムーバーを使用して、ツメ嵌合(１ヶ所)及び、ガイド(１ヶ所)を外す。
(3) コネクターを切り離し、カーテシランプ LH を取り外す。

図-8



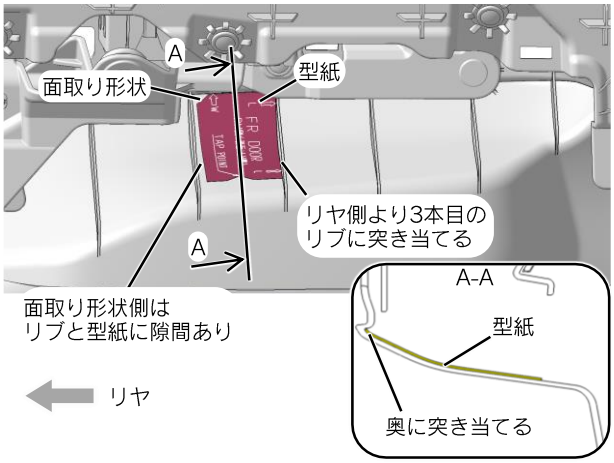

8. スクリュー(２ヶ所)を取り外す。

図-9




9. フロントドアトリムボードの取り外し。
(1) 手を掛ける位置を起点としてクリップ嵌合(10 ヶ所)、ツメ嵌合(４ヶ所)およびガイド(２ヶ所)を外す。
(2) コネクターを切り離し、フロントドアトリムボードを取り外す。

図-10



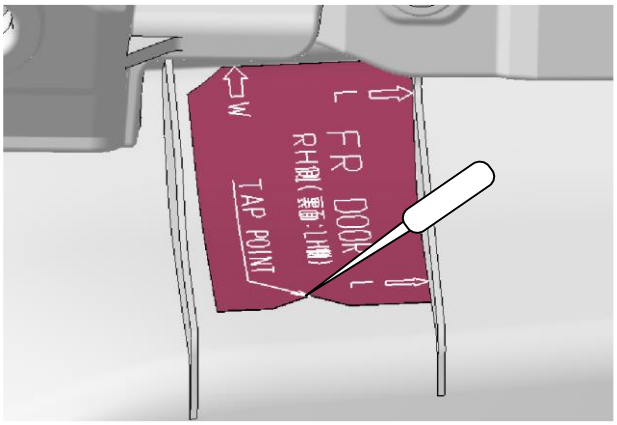

## フロントドアトリムボードへの穴あけ

1. フロントドアトリムボードの裏面側に型紙をセットする。

**注 意**

リヤ側より 3 本目のリブを使用します。
穴あけミスとなりますので、リブ位置はしっかりと確認をしてください。

図-11

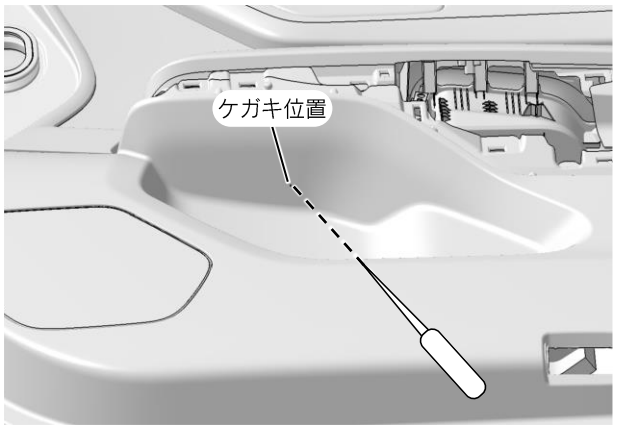



2. 型紙の切り欠き先端に合わせてケガキ針でケガキを入れる。その後型紙を取り外す。

**アドバイス**

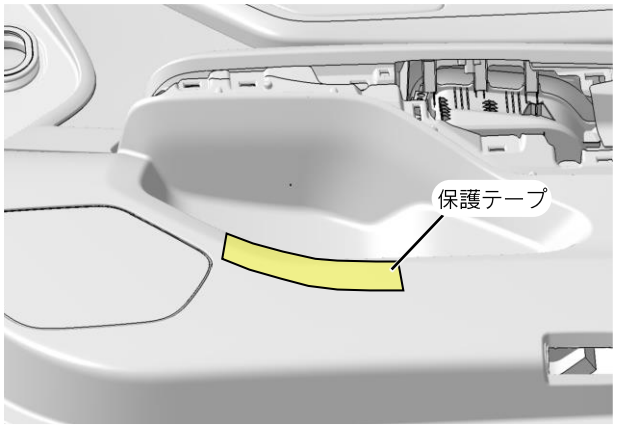
1. 意匠面側からケガキ部が確認できるよう強くケガキ針を押し込んでください。
2. 型紙は LH 側でも使用しますので、丁寧に扱ってください。LH 側で使用する場合は印刷面が裏になるように使用してください。

図-12



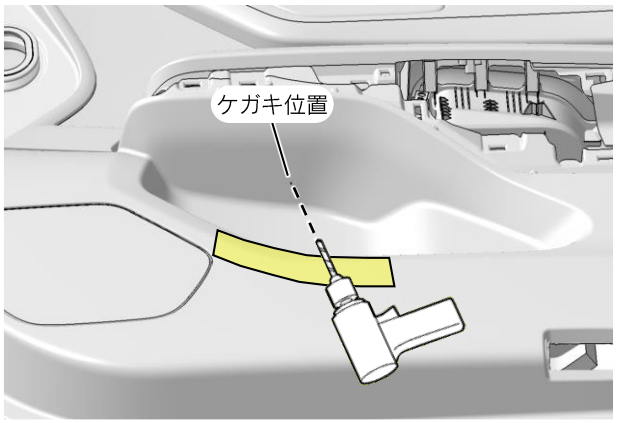

3. フロントドアトリムボードを裏返し、意匠面側から前項のケガキに対して再度ケガキを入れる。

図-13




4. 穴あけ用ドリルでの傷付き防止のため、図に従い保護テープを貼る。

図-14



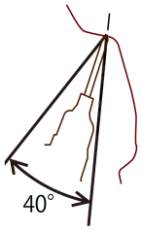

5. ケガキ位置にΦ３の下穴をあけ、続いて Φ13 の穴をあける。

**⚠注 意**

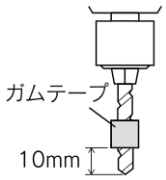
ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。

**注 意**

1. 電動ドリルは、穴をあける面の面直方向に対し、L 方向を軸にして約 40°の範囲内で当ててください。

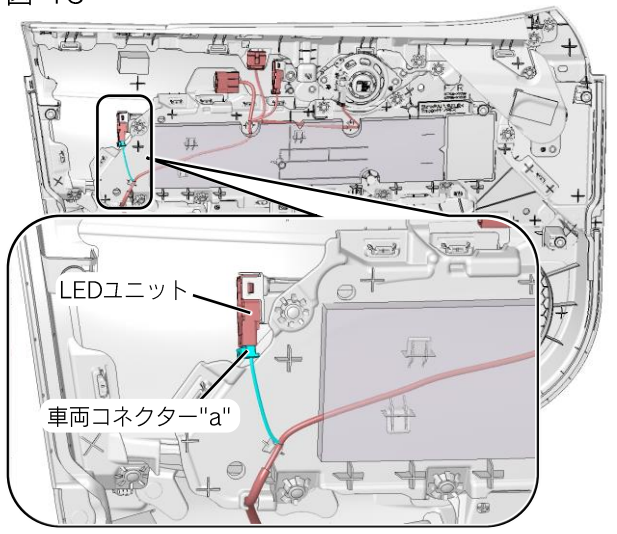



2. 穴あけ作業の際は、他部品の傷付き防止及び車両部品貫通防止のため、ドリル先端から約 10mm の位置にストッパーとなるようにガムテープを巻いてください。




3. 穴部を両側バリ取りしてください。
   意匠面側: リテーナーが正しく取り付かない恐れがあります。
   裏面側: ベゼルが正しく取り付かない恐れがあります。

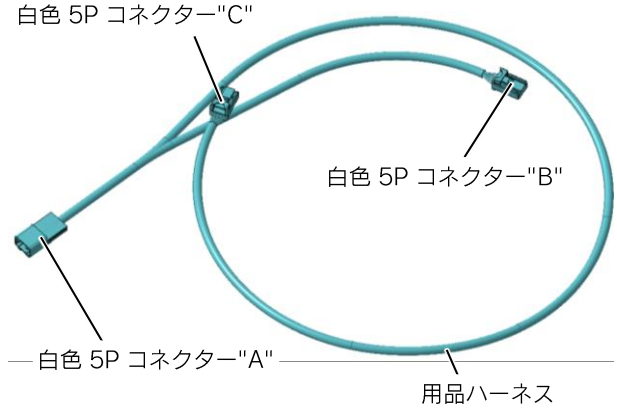
図-15




## LED ユニットの組み付け

1. トリムイルミの LED ユニットの車両コネクター"a"を切り離す。

図-16

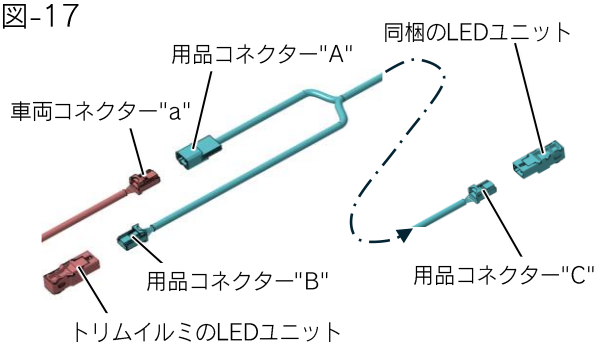



2. 用品ハーネスを確認する。

**アドバイス**

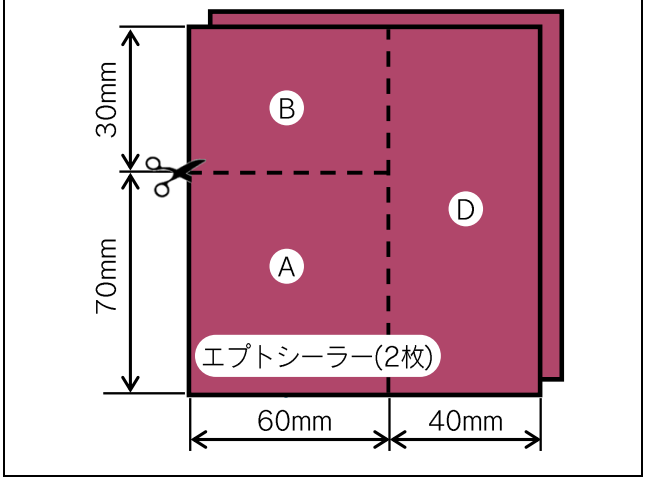
用品コネクター"B"と"C" は同じコネクターですが、ハーネス長が異なります。
・ハーネス長が短い側：コネクター"B"
・ハーネス長が長い側：コネクター"C"

図-17



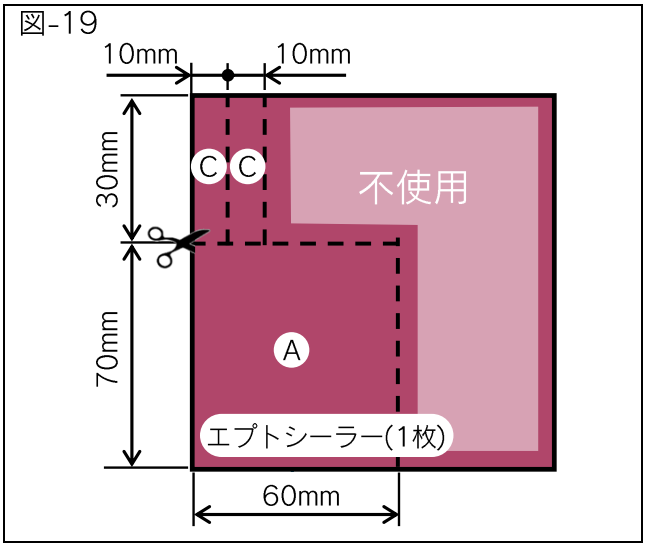

3. 各コネクターと LED ユニットを結線する。
   (1) 車両ハーネスのコネクター"a"と用品ハーネスのコネクター"A"
   (2) トリムイルミの LED ユニットと用品ハーネスのコネクター"B"
   (3) 同梱の LED ユニットと用品ハーネスのコネクター"C"

図-18



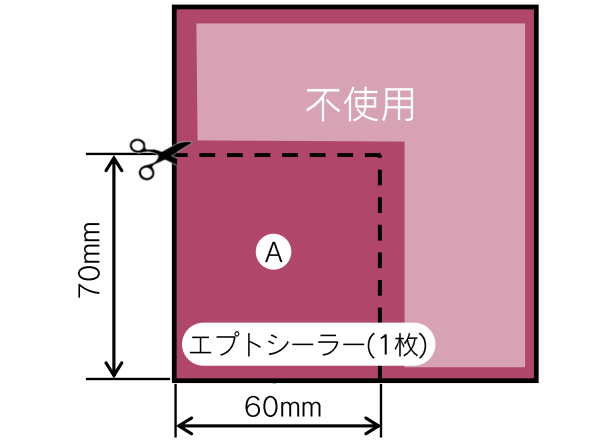

4. エプトシーラー(２枚)を、図に従いカットする。

図-19




5. エプトシーラー(１枚)を、図に従いカットする。

図-20

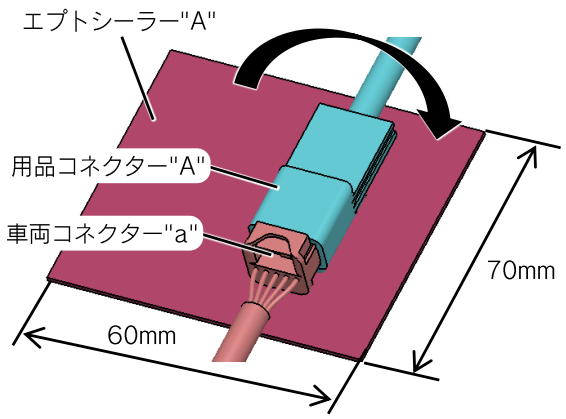



6. エプトシーラー(１枚)を、図に従いカットする。

**アドバイス**

残りの４枚はカットせずに使います。

図-21

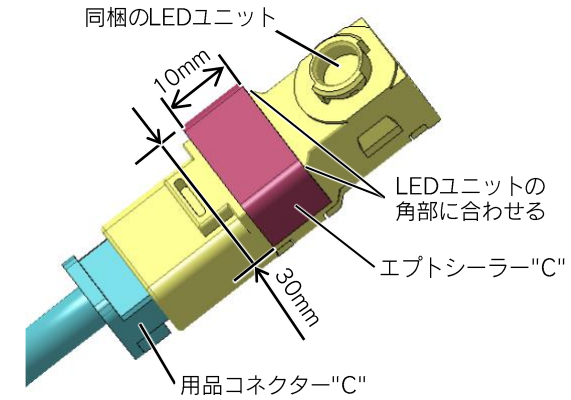



7. エプトシーラー"A"を車両コネクター"a"と用品コネクター"A"との結線部を全て覆い隠すように巻き付ける。

**注 意**

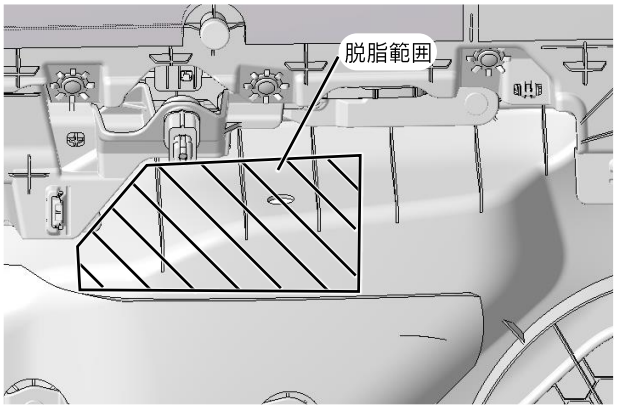
1.正しく巻き付けないと、異音発生の原因となります。
2.被水防止のため、端に隙間ができないようしっかりと巻き付けてください。

図-22



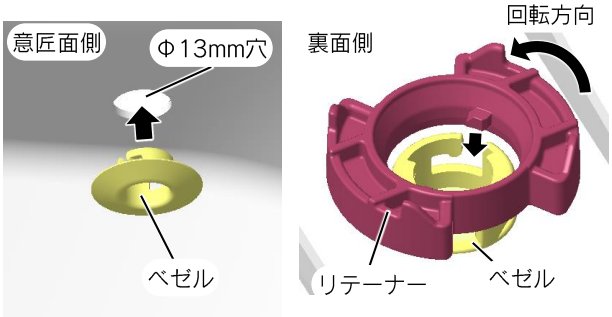

8. エプトシーラー"C"を、用品コネクター"C"に結線した LED ユニットに貼り付ける。

図-23




9. ドアトリムの図中斜線部（エプトシーラー、不織布テープ貼り付け範囲）を脱脂する。

図-24

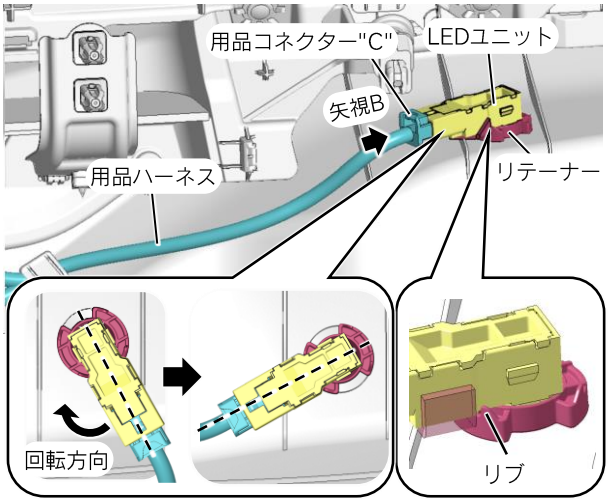



10. Φ13mm の穴に意匠面側からベゼルを通して、裏面側からリテーナーをベゼルに嵌めこみ反時計回りに回転させて組み付ける。

**アドバイス**

ベゼルを軽く押し込みながらリテーナーを回転させるとスムーズに組み付きます。

図-25




11. 用品コネクター"C"に結線した LED ユニットをリテーナーに嵌め、リテーナーを押さえながら時計回りに LED ユニットを回転させていき、リテーナーのリブを乗り越えた位置で止める。

**注 意**

異音発生の原因となりますので、LED ユニットがドアトリムの側面より車両外側にはみ出さないよう回転させて配置してください。

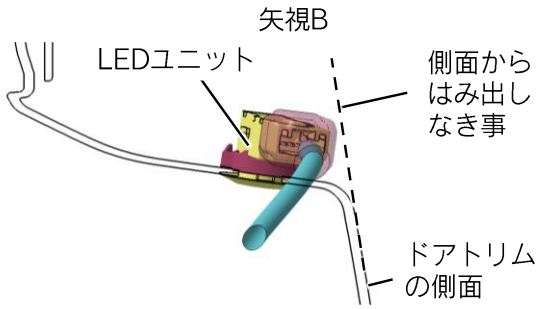
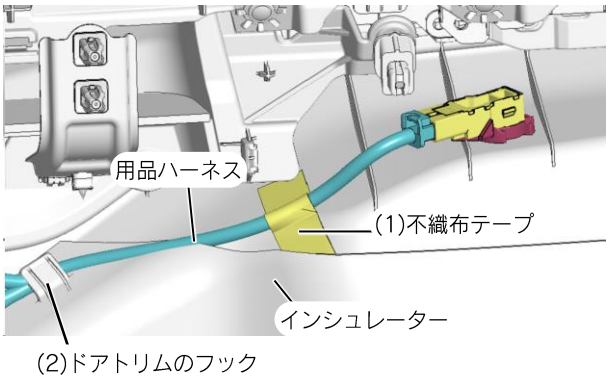



図-26



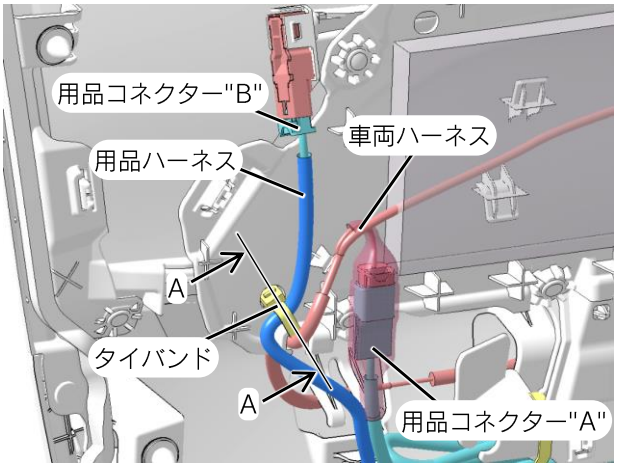

**配線作業**

1. 図に従い用品ハーネスを固定する。
   (1) 不織布テープにてハーネスを固定する。
   (2) ドアトリムのフックにハーネスをかける。

**注 意**

1.ハーネスで LED ユニットを引っ張らないように貼り付けてください。ベゼルが破損する可能性があります。
2.ハーネスはインシュレーターの上に配線してください。

図-27




2. 図に従い用品ハーネスをドアトリムの車両ハーネス固定部にタイバンドで固定する。

**注 意**

タイバンドの結束部が破線部よりはみ出さないように締め付けてください。

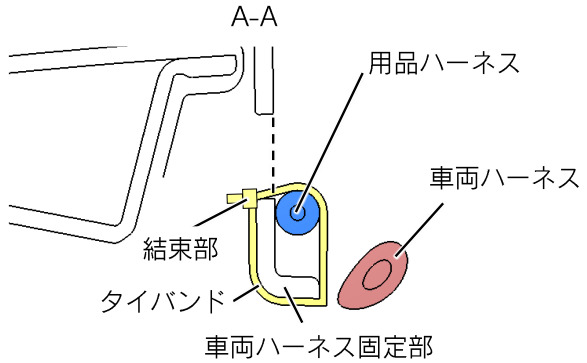
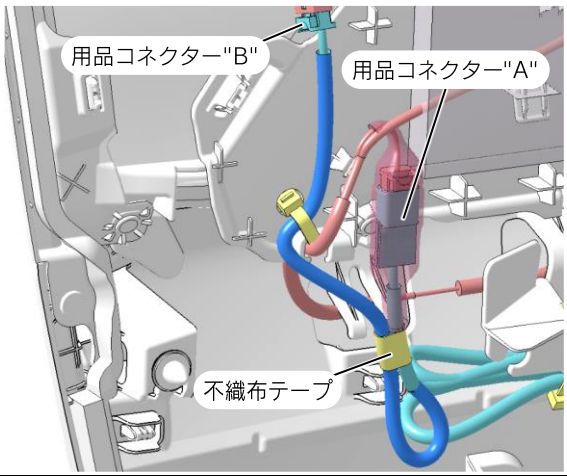
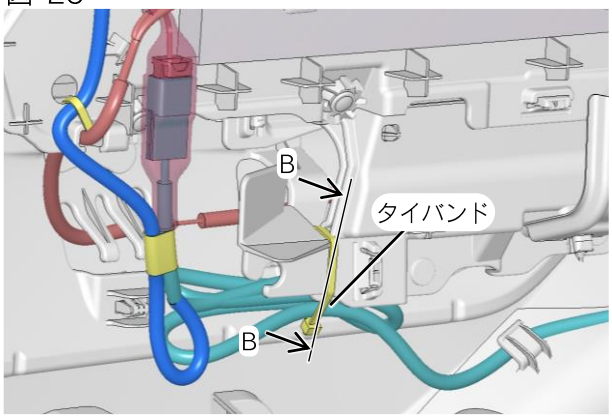


図-28




3. 用品コネクター"A"が図の位置になるように、用品コネクター"A"のハーネスと用品コネクター"B"のハーネスを束ねて不織布テープで固定する。

図-29




4. 図に従い用品ハーネスをタイバンドで固定する。

**注 意**

用品ハーネスの余長を束ねて固定してください。

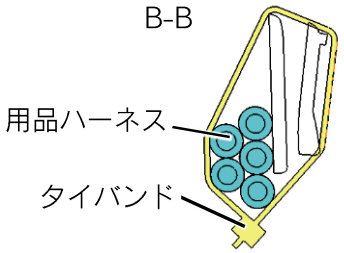
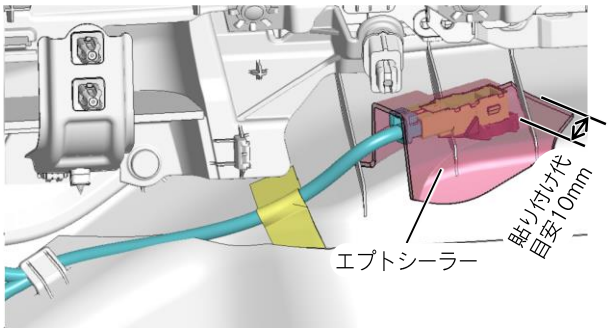



図-30

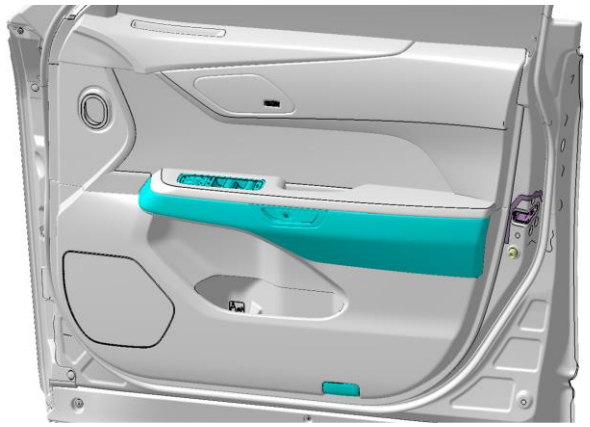



5. 100×100 のエプトシーラーを LED ユニットの上面と周辺のハーネスを覆うように貼り付ける。

**注 意**

1.エプトシーラーを貼り付けるときに LED ユニットを強く押さないでください。ベゼルが破損する可能性があります。
2.被水防止のため、端に隙間ができないようしっかりと貼り付けてください。

図-31



**フロントドアトリムボードの復元**

1. 「フロントドアトリムボードの取り外し」の逆手順でフロントドアトリムボードをフロントドアパネルに復元する。

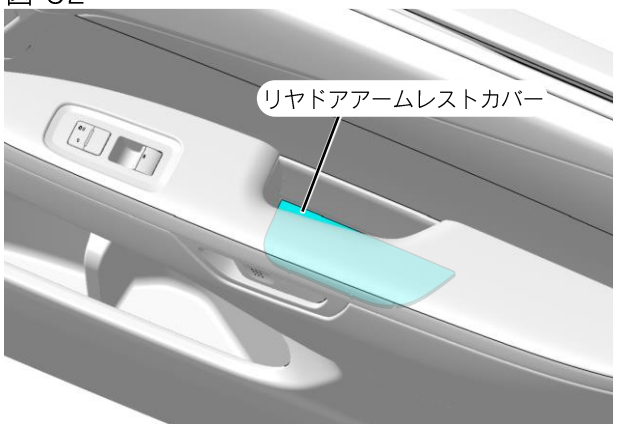
**注 意**

復元の際は、配線を噛み込まないよう注意して作業してください。

## リヤドアトリムボードの取り外し

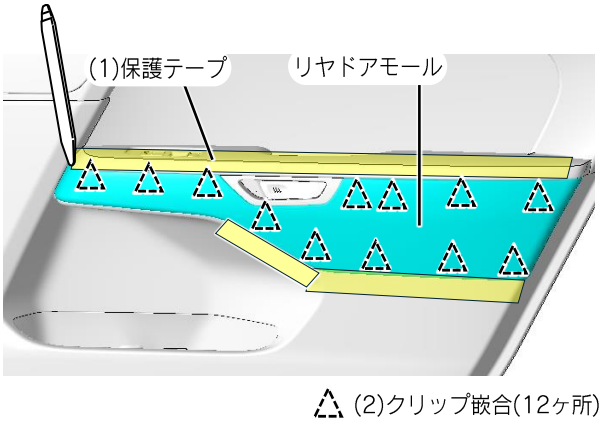
1. リヤドアアームレストカバーを取り外す。

図-32




2. リヤドアモールの取り外し。
   (1) 図に従い、保護テープを貼る。
   (2) モールディングリムーバーを使用して、クリップ嵌合(12 ヶ所)を外す。

図-33




3. スイッチベースパネルの取り外し。
   (1) 図に従い、保護テープを貼る。
   (2) モールディングリムーバーを使用して、クリップ嵌合(1 ヶ所)を外す。
   (3) 図のように、ガイド(1 ヶ所)を外す。
   (4) コネクターを切り離し、スイッチベースパネルを取り外す。

図-34

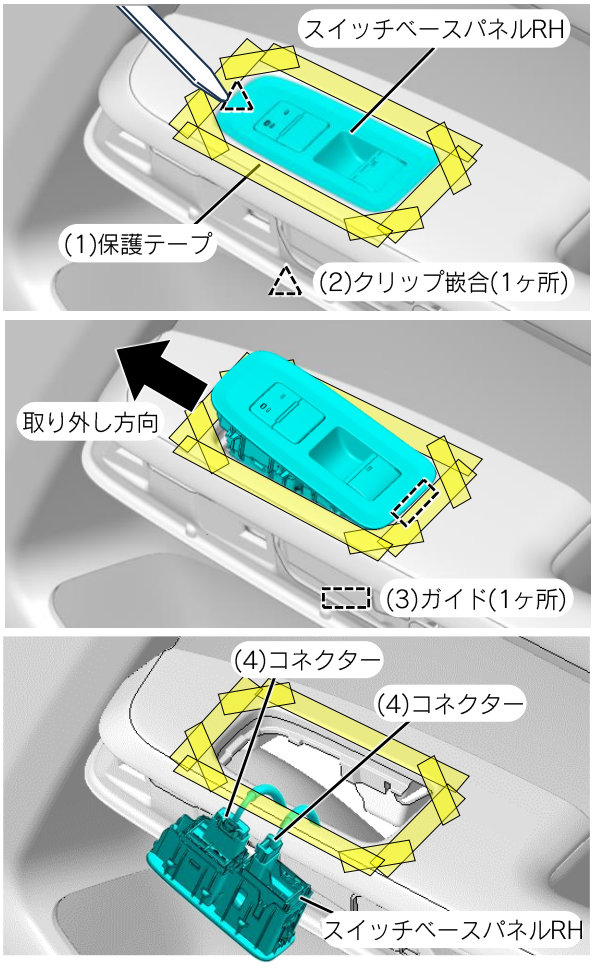
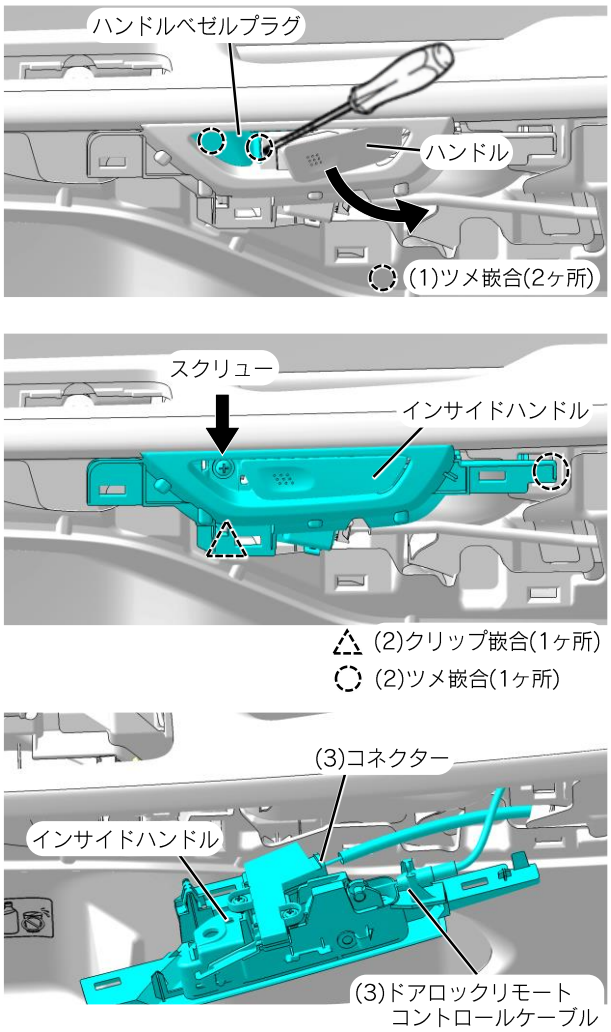
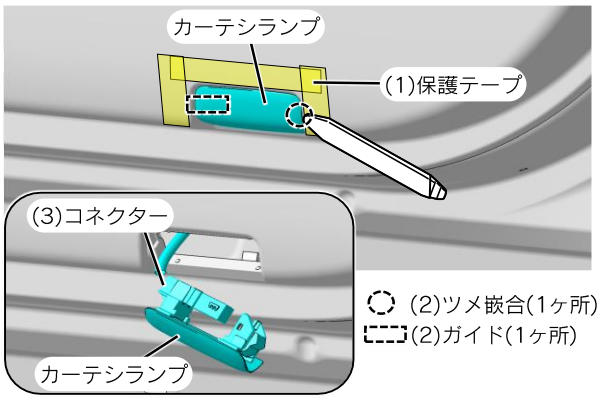


図-35



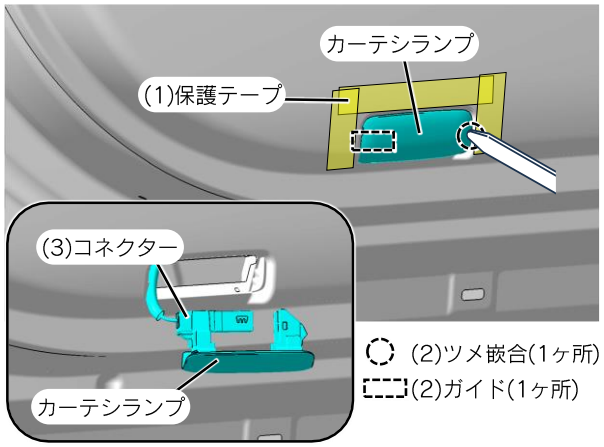

4. インサイドハンドルの取り外し。
   (1) ハンドルを開いた状態で、保護テープを巻いたマイナス薄刃ドライバーを使用してハンドルベゼルプラグのツメ嵌合(2ヶ所)を外す。
   (2) スクリュー(1ヶ所)を外し、クリップ嵌合(1ヶ所)及び、ツメ嵌合(1ヶ所)を外す。
   (3) ドアロックリモートコントロールケーブル、コネクターを切り離し、インサイドハンドルを取り外す。

図-36



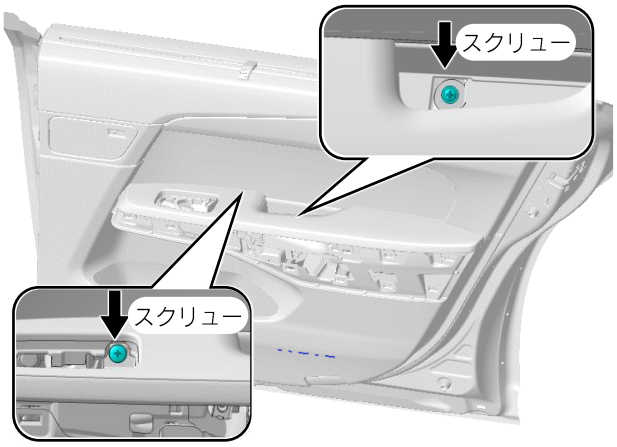

5. カーテシランプ RH の取り外し。
   (RH/LH 非対称作業)
   (1) 図に従い、保護テープを貼る。
   (2) モールディングリムーバーを使用して、ツメ嵌合(1ヶ所)及び、ガイド(1ヶ所)を外す。
   (3) コネクターを切り離し、カーテシランプRHを取り外す。

図-37



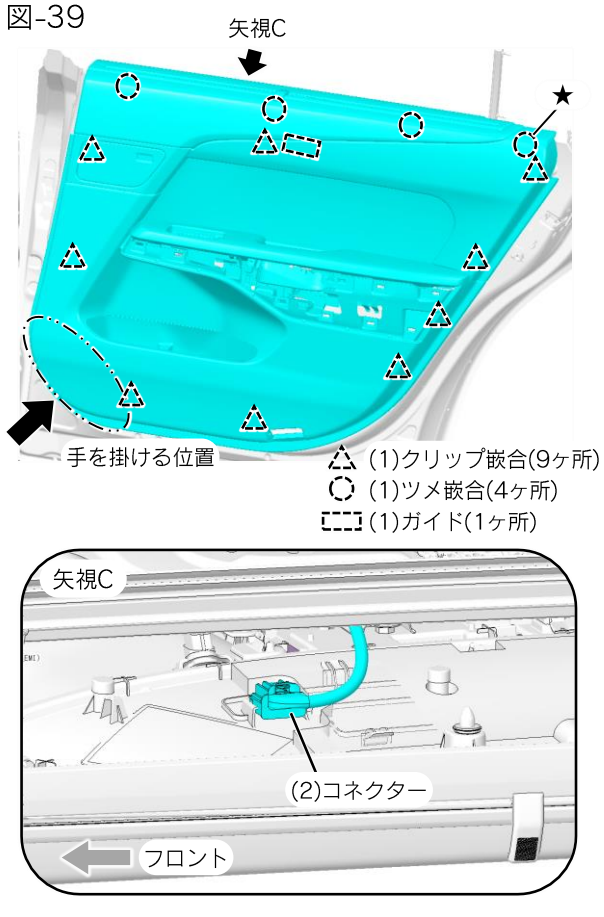

6. カーテシランプ LH の取り外し。
(RH/LH 非対称作業)
(1) 図に従い、保護テープを貼る。
(2) モールディングリムーバーを使用して、ツメ嵌合(１ヶ所)及び、ガイド(１ヶ所)を外す。
(3) コネクターを切り離し、カーテシランプ LH を取り外す。

図-38




7. スクリュー(２ヶ所)を取り外す。

図-39




8. リヤドアトリムボードの取り外し。
(1) 手を掛ける位置を起点としてクリップ嵌合(９ヶ所)、ツメ嵌合(４ヶ所)およびガイド(１ヶ所)を外す。
(2) コネクターを切り離し、リヤドアトリムボードを取り外す。

**アドバイス**

★のツメ嵌合のみ H 方向（上方向）に外してください。
リテーナーがドアトリムと一緒に外れた場合は、ドアトリムから外してドアパネルに復元してください。

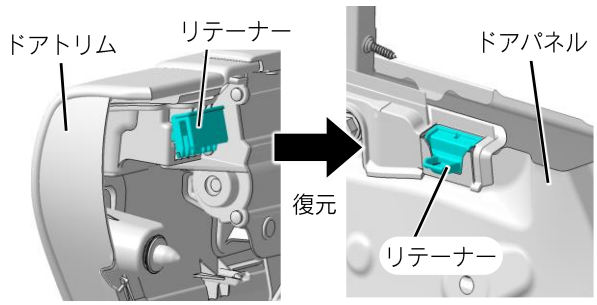
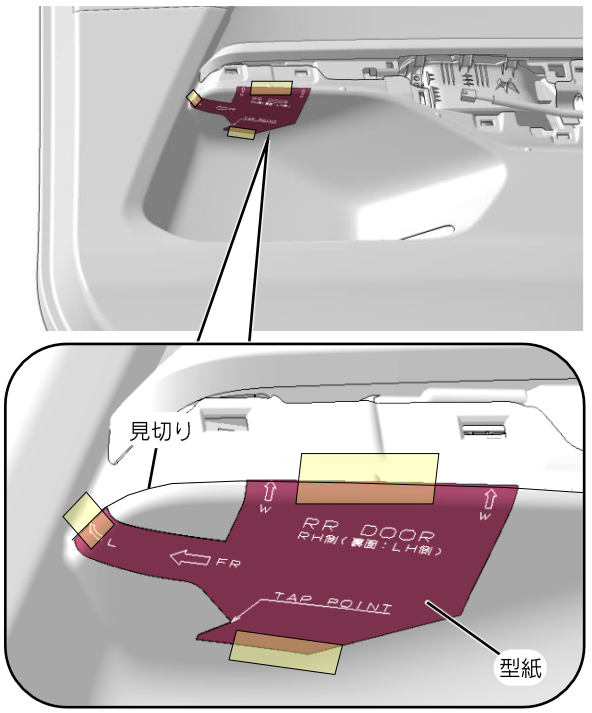


図-40



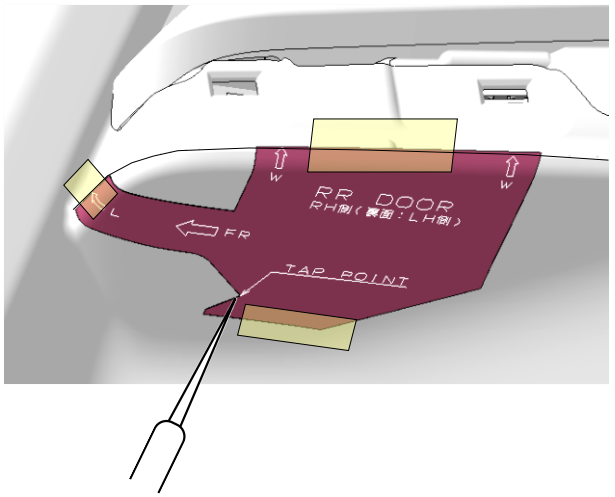

## リヤドアトリムボードへの穴あけ

1. リヤドアトリムボードの意匠面側に型紙をセットする。

**アドバイス**

ドアトリムの見切りに合わせてセットしてください。

図-41

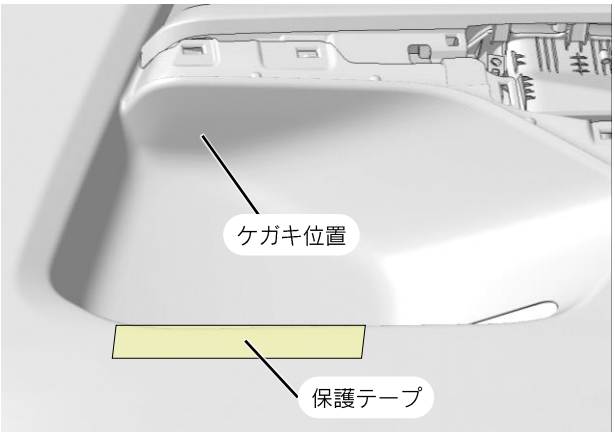



2. 型紙の切り欠き先端に合わせてケガキ針でケガキを入れる。その後型紙を取り外す。

**アドバイス**

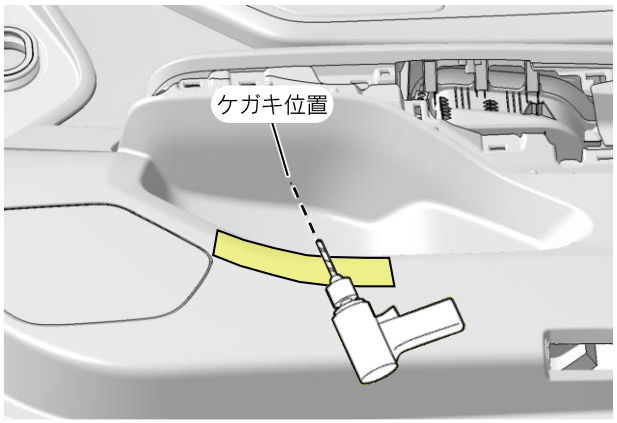
型紙は LH 側でも使用しますので、丁寧に扱ってください。LH 側で使用する場合は印刷面が裏になるように使用してください。

図-42




3. 穴あけ用ドリルでの傷付き防止のため、図に従い保護テープを貼る。

図-43




4. ケガキ位置にΦ３の下穴をあけ、続いて Φ13 の穴をあける。

**⚠ 注 意**

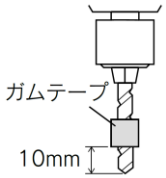
ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。

**注 意**

1. 電動ドリルは、穴をあける面の面直方向に対し、L 方向を軸にして約 40°の範囲内で当ててください。

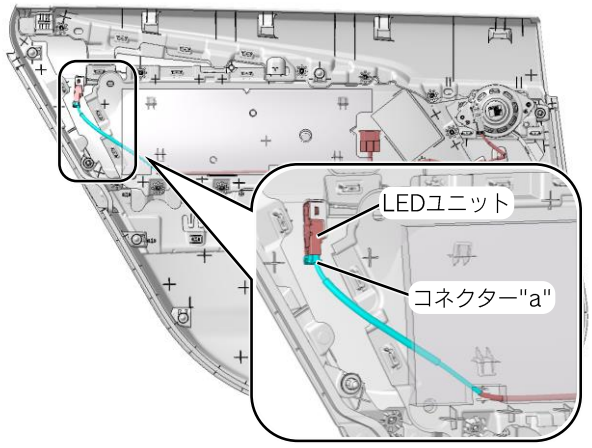



2. 穴あけ作業の際は、他部品の傷付き防止及び車両部品貫通防止のため、ドリル先端から約 10mm の位置にストッパーとなるようにガムテープを巻いてください。




3. 穴部を両側バリ取りしてください。
   意匠面側: リテーナーが正しく取り付かない恐れがあります。
   裏面側: ベゼルが正しく取り付かない恐れがあります。

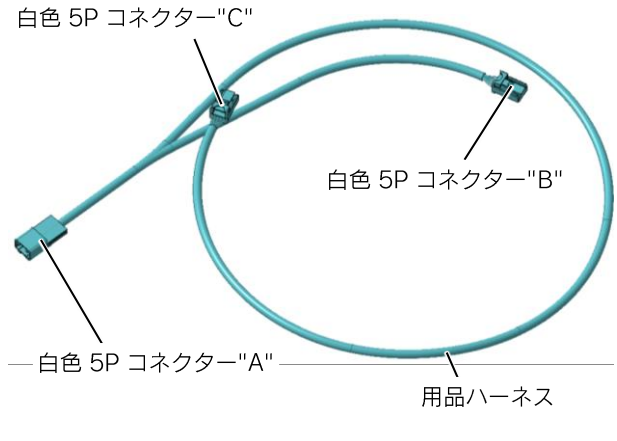
図-44




## LED ユニットの組み付け

1. トリムイルミの LED ユニットの車両コネクター"a"を切り離す。

図-45

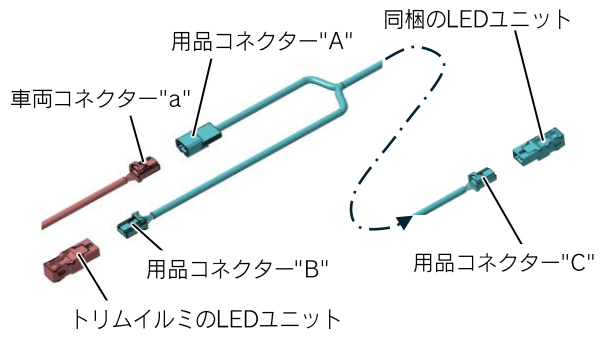



2. 用品ハーネスを確認する。

**アドバイス**

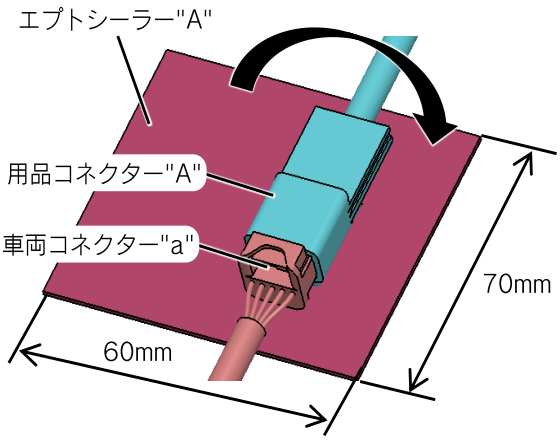
用品コネクター"B"と"C" は同じコネクターですが、ハーネス長が異なります。
・ハーネス長が短い側：コネクター"B"
・ハーネス長が長い側：コネクター"C"

図-46




3. 各コネクターと LED ユニットを結線する。
   (1) 車両ハーネスのコネクター"a"と用品ハーネスのコネクター"A"
   (2) トリムイルミの LED ユニットと用品ハーネスのコネクター"B"
   (3) 同梱の LED ユニットと用品ハーネスのコネクター"C"

図-47

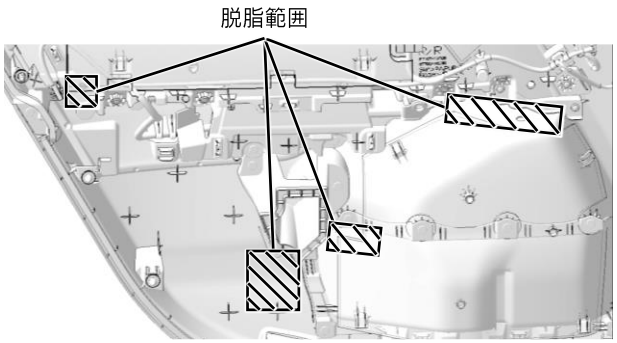



4. エプトシーラー"A"を車両コネクター"a"と用品コネクター"A"との結線部を全て覆い隠すように巻き付ける。

**注 意**

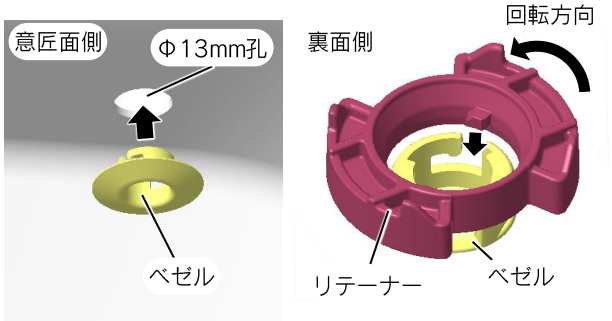
1.正しく巻き付けないと、異音発生の原因となります。
2.被水防止のため、端に隙間ができないようしっかりと巻き付けてください。

図-48




5. ドアトリムの図中斜線部（エプトシーラー、不織布テープ貼り付け範囲）を脱脂する。

図-49

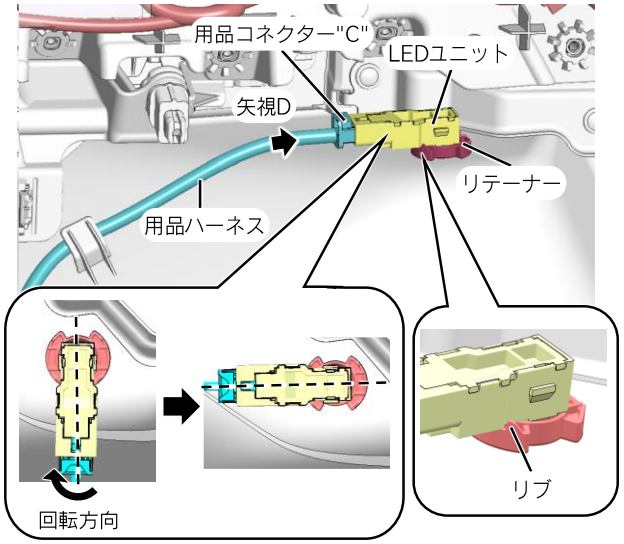



6. Φ13mm の穴に意匠面側からベゼルを通して、裏面側からリテーナーをベゼルに嵌めこみ反時計回りに回転させて組み付ける。

**アドバイス**

ベゼルを軽く押し込みながらリテーナーを回転させるとスムーズに組み付きます。

図-50




7. 用品コネクター"C"に結線した LED ユニットをリテーナーに嵌め、リテーナーを押さえながら時計回りに LED ユニットを回転させていき、リテーナーのリブを乗り越えた位置で止める。

**注 意**

異音発生の原因となりますので、LED ユニットがドアトリムの側面より車両外側にはみ出さないよう回転させ配置してください。

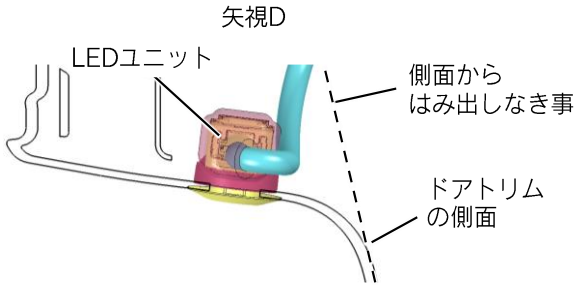
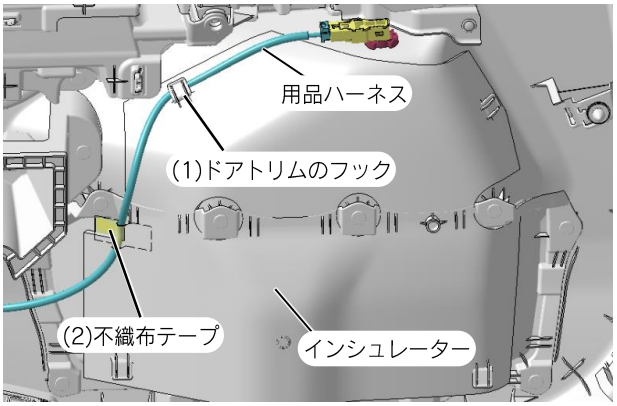



図-51




**配線作業**

1. 図に従い用品ハーネスを固定する。
   (1) ドアトリムのフックにハーネスをかける。
   (2) 不織布テープにてハーネスを固定する。

**注 意**

1.ハーネスで LED ユニットを引っ張らないように貼り付けてください。ベゼルが破損する可能性があります。
2.ハーネスはインシュレーターの上に配線してください。
3.ドアトリムの溶着痕に用品ハーネスが触れないよう固定してください。断線する可能性があります。

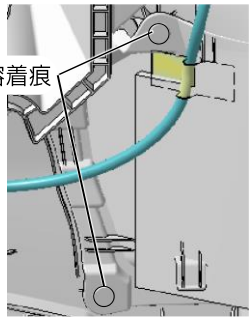
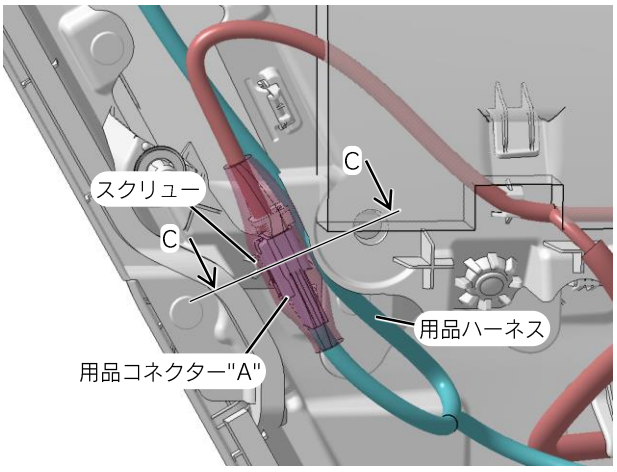



図-52




2. 図に従い用品ハーネスと用品コネクター"A"を配線する。

**注 意**

1.用品コネクター"A"が破線部よりはみ出さないように配線してください。
2.用品コネクター"A"の向きは不問です。

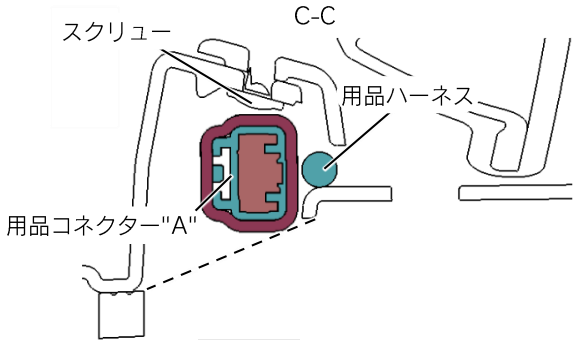
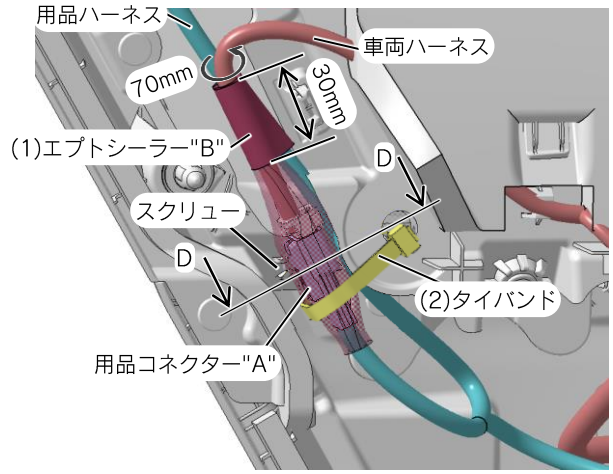


図-53




3. 図に従い用品ハーネスを固定する。
   (1) エプトシーラー"B"で用品ハーネスと車両ハーネスを束ねる。
   (2) ドアトリムの既設穴にタイバンドで固定する。

**注 意**

1.異音発生の原因となりますので、タイバンドはスクリューに当たらない位置で締め付けてください。
2.用品コネクター"A"が破線部よりはみ出さないように調節しながら締め付けてください。
3.タイバンドの結束部が穴の位置に来るように調節しながら締め付けてください。

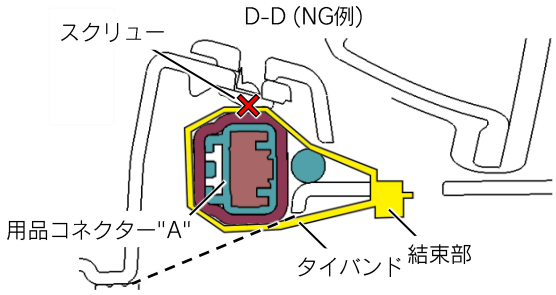
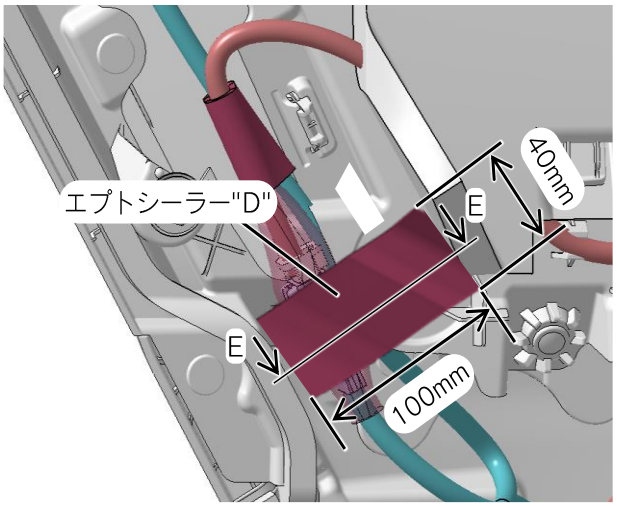



図-54




4. エプトシーラー"D"をタイバンドを覆うように貼り付ける。

**注 意**

タイバンドとドアパネルが当たると異音発生の原因となりますので、しっかりと覆ってください。

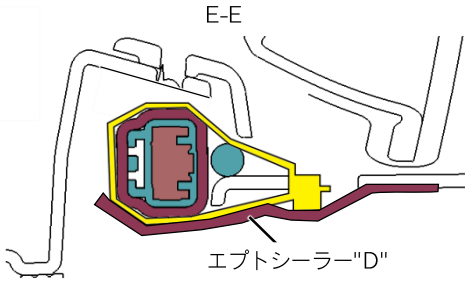
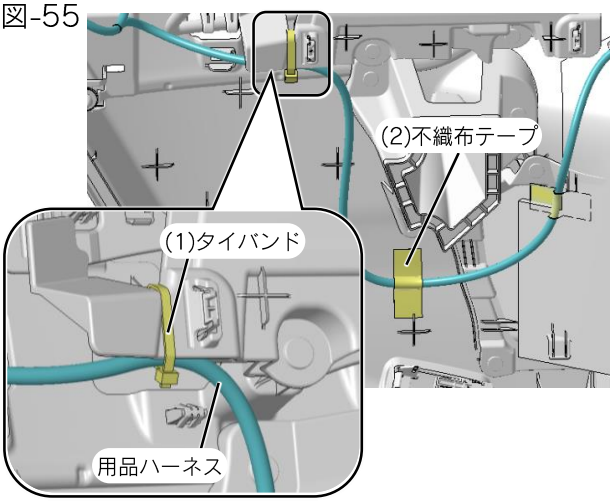



図-55




5. 図に従い用品ハーネスを固定する。
   (1) ドアトリムにタイバンドで固定する。
   (2) 不織布テープで固定する。

**注 意**

ドアトリムの溶着痕に用品ハーネスが触れないよう固定してください。断線する可能性があります。

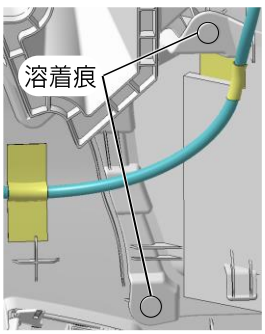
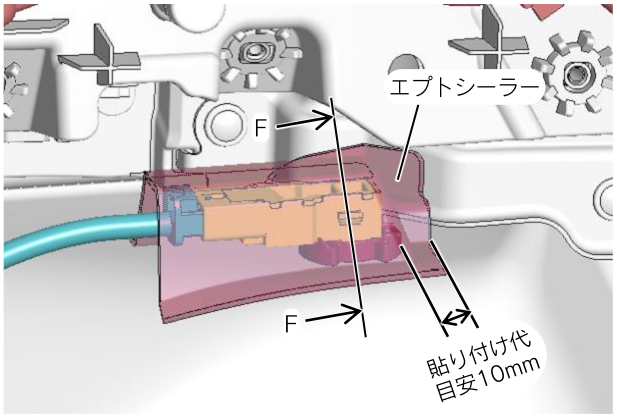


図-56




6. 100×100 のエプトシーラーを LED ユニットの上面と周辺のハーネスを覆うように貼り付ける。

**注 意**

1. エプトシーラーを貼り付けるときに LED ユニットを強く押さないでください。ベゼルが破損する可能性があります。
2. 被水防止のため、LED ユニット上面を確実に覆ってください。

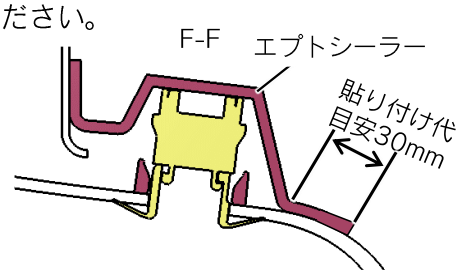



図-57



### リヤドアトリムボードの復元

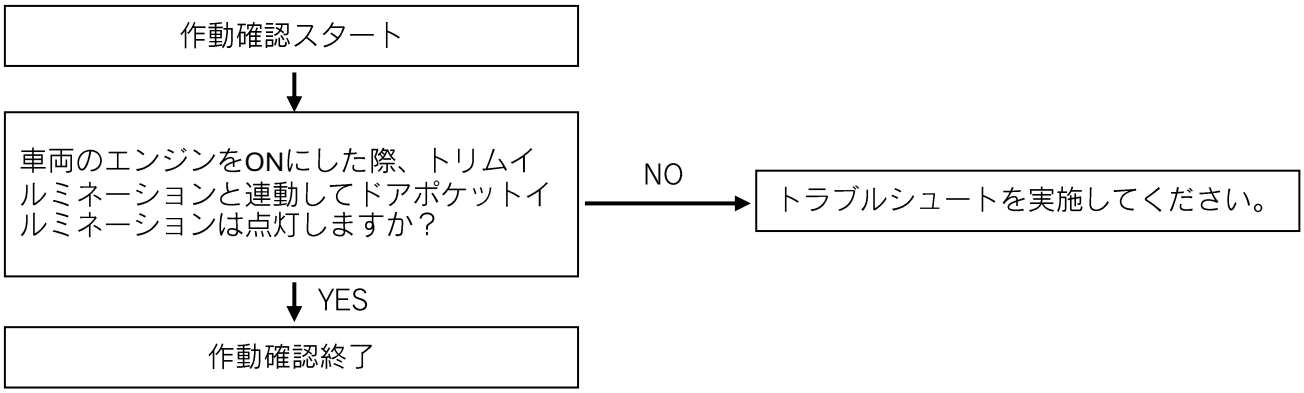
1. 「リヤドアトリムボードの取り外し」の逆手順でリヤドアトリムボードをリヤドアパネルに復元する。

**注 意**

復元の際は、配線を噛み込まないよう注意して作業してください。

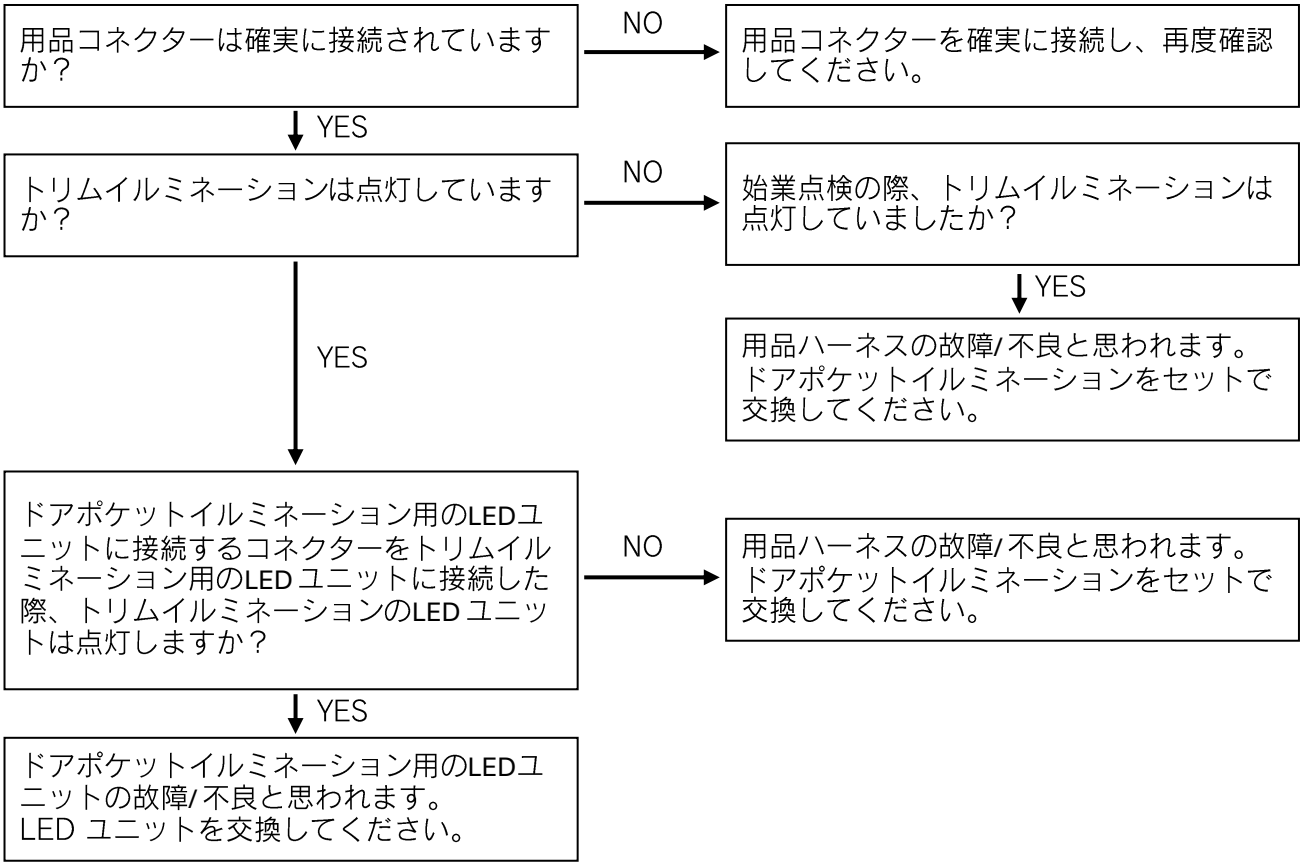
## 作動確認

1. 作動確認を行う前に、配線および取り付けに異常がない事を確認してください。
2. 以下の手順に従って作動確認を行ってください。尚、作動不良が発生した場合は、指示に従って点検作業を実施してください。



# トラブルシュート

このトラブルシュートは、作動確認の作業で作動不良となった場合の点検方法を記載してあります。




# 復元作業

「作動確認」完了後、取り外した車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。

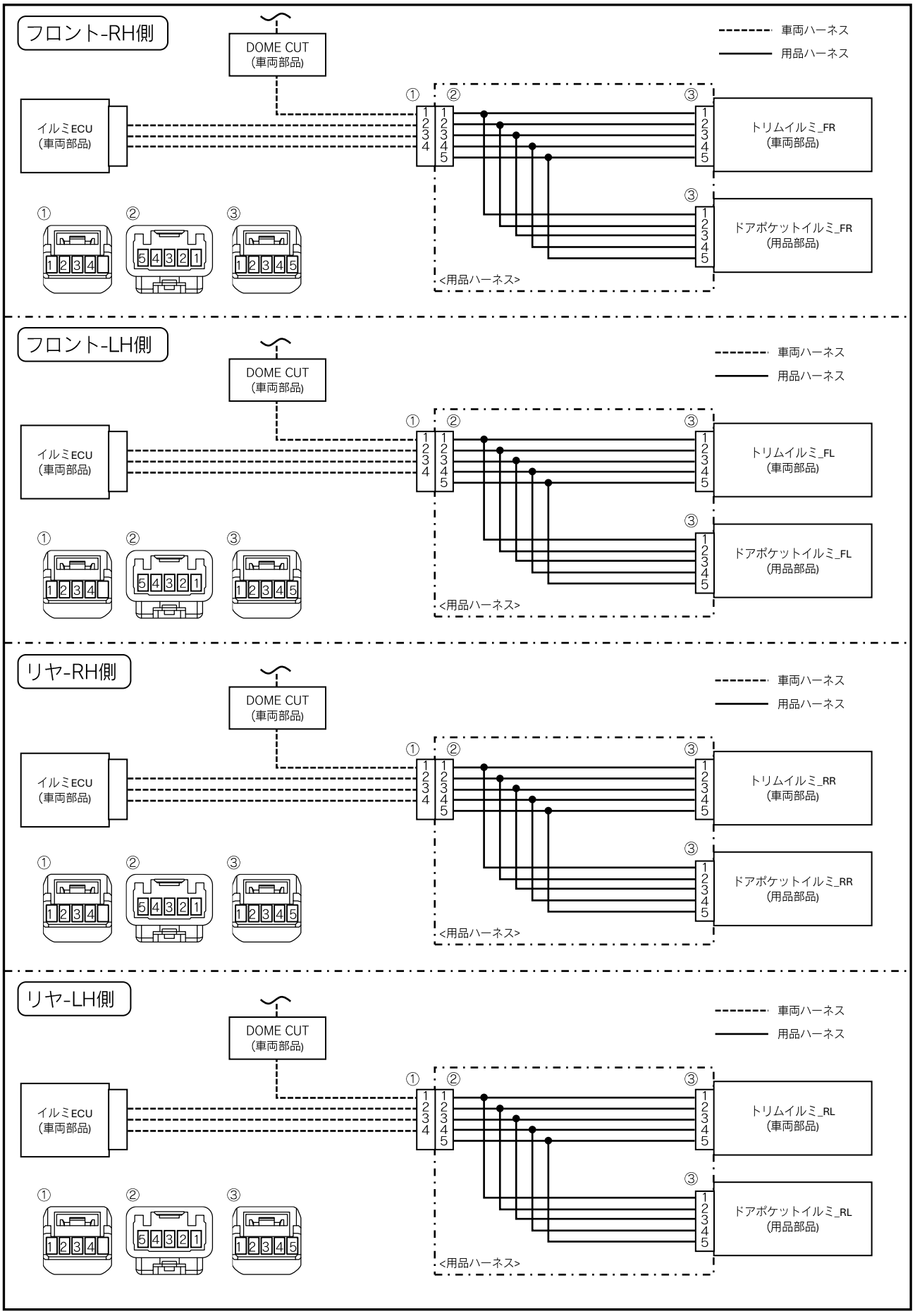
**注 意**

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、GTS＋等のツールが必要な場合があります。

# 最終確認

1. ハーネス類の噛み込みおよび、車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. インジケーター等、電気系統に異常がないか確認してください。

# 配線図


フロント-RH側
DOME CUT
(車両部品)
車両ハーネス
用品ハーネス
イルミECU
(車両部品)
トリムイルミ_FR
(車両部品)
ドアポケットイルミ_FR
(用品部品)
<用品ハーネス>
フロント-LH側
DOME CUT
(車両部品)
車両ハーネス
用品ハーネス
イルミECU
(車両部品)
トリムイルミ_FL
(車両部品)
ドアポケットイルミ_FL
(用品部品)
<用品ハーネス>
リヤ-RH側
DOME CUT
(車両部品)
車両ハーネス
用品ハーネス
イルミECU
(車両部品)
トリムイルミ_RR
(車両部品)
ドアポケットイルミ_RR
(用品部品)
<用品ハーネス>
リヤ-LH側
DOME CUT
(車両部品)
車両ハーネス
用品ハーネス
イルミECU
(車両部品)
トリムイルミ_RL
(車両部品)
ドアポケットイルミ_RL
(用品部品)
<用品ハーネス>